

招 集 期 日	平成 2 9 年 8 月 1 0 日 (木)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 3 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 1 4 時 2 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古市明教育長職務代理者	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春 山 教 子 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開会		8 月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する事件、その他の事件については、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は、公開しないことができる。本日の日程の中で非公開とする案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
日程第 1 前回会議録の承認	教育長	7 月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 について、学校教育課長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2</p> <p>報告事項1 平成29年度教科書展示会の結果について</p> <p>報告事項2 見学会「復活！宝蔵寺沼ムジナモ自生地を訪ねる」の結果について</p> <p>報告事項3 第20回羽生市吹奏楽フェスティバルの開催について</p>	<p>学校教育課長</p> <p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>6月16日から7月3日までの期間で、羽生北小学校内の羽生教科書センターにて開催した。来場者数は528人で、昨年度よりも165人多かった。今年度は小学校の特別の教科道徳の教科書採択の年であることが要因と考えている。</p> <p>報告事項2から4について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>埼玉県立自然の博物館との共催により7月30日に開催した。現在ムジナモは、埼玉県レッドデータブックでは野生絶滅というカテゴリーになっている。これを野生復帰し絶滅危惧種1A類にランクダウンさせる事を目標としている。参加人数は市内から1名、市外から21名の計22名、うち小学生が10人近くいた。内容は、前半はムジナモの概要の説明とDVD視聴、後半はムジナモ自生地を案内し、埼玉県自然の博物館職員による解説を行った。曇り空であったが、開花しているムジナモを見ることができ、参加者は大変感激していた。応募者多数であったため、次年度の実施についても検討していきたい。また、この見学会とは別に羽生市教育委員会とムジナモ保存会の共催による自生地一般公開を7月5日、12日、19日、26日に実施したところ、計8名の参加があった。</p> <p>10月1日に産業文化ホール大ホールにて開催する。入場料は無料であり、1000人程度の観覧を見込んでいる。参加団体は、中学校、高校、一般の部で全13団体、約500名が演奏に参加する予定である。全体的なりハーサルは実施しないが、前日は練習のための開放を行う。当日の演奏準備・運営などについては、各団体の協力により進める。ポスター、チラシ、広報誌、ホームページなどで周知を行う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 平成29年度羽生市人権教育指導者研修会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>市内の各種団体・関係機関並びに事業所の中で指導的立場にある方を対象として、ワークヒルズ羽生にて開催する。全5回を予定しており、日程と研修内容については、第1回は9月2日、子ども・女性の人権、第2回は9月16日、今あらためて考える同和問題、第3回は10月14日、外国人の人権、第4回が10月28日、犯罪被害者と人権、第5回が11月18日、現在ある差別事象について、現代社会における人権課題となっている。5回のうち3回以上受講された方を研修会修了者とし、修了証を授与する。昨年度は参加者191名、うち126名の方が修了者となった。</p>
<p>報告事項5 チャレンジtheスポーツ2017の結果について</p>	教育長	<p>報告事項5から7について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項6 第35回羽生市教育長杯争奪中学野球大会の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>7月1日に羽生市体育館メインアリーナ及びサブアリーナにおいて、羽生市教育委員会及び羽生市スポーツ推進委員会主催として開催した。参加人数は小学生を含む64歳以下が89名、65歳以上が34名、計123名であった。開会式のムジナもん体操にはじまり、握力や上体起こしなどの体力測定を行った後、健康づくり推進課とのタイアップによる体脂肪、足指力測定等の健康チェックを行い、最後にフロアカーリング、スポーツ吹き矢等のニュースポーツの体験を行った。昨年度に引き続き実施した健康チェックは非常に好評であった。小学生から83歳まで、昨年の104名を大幅に超える参加があったが、年齢別に会場を設けたことにより、体力測定から健康チェック、ニュースポーツへの移行がスムーズにできた。参加者からは、自己の健康状態や体力を認識し、今後の生活を改めるよい機会になったという意見を多くいただいた。</p>
<p>報告事項6 第35回羽生市教育長杯争奪中学野球大会の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>羽生市教育委員会及び羽生市スポーツ少年団の主催として9月9日、10日に羽生中央公園野球場にて開催する。参加校は、市内3校の他、さいたま市、加須市、行田市から5校を招待する予定である。優勝から第3位までのチーム表彰と、最優秀選手賞などの個人表彰を行う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 第31回羽生市民体育祭の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>羽生市、羽生市教育委員会、羽生市体育協会の主催により、羽生中央公園陸上競技場にて10月22日に開催する。雨天の場合は中止とする。競技方法は、地区対抗の総合優勝制とし、対抗種目による合計得点により順位を決する。昨年度は三田ヶ谷地区が3連覇となる優勝を飾り、準優勝は手子林地区、3位は岩瀬地区であった。なお、第一回の実行委員会を8月28日に開催予定である。</p>
<p>報告事項8 「図書館・郷土資料館まつり」の結果について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項8から9について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項9 企画展Ⅱ「第5回社寺宝物展 おらがむらのお宝ー村君の人々のおもい、いのりー」の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>7月15日に図書館・郷土資料館にて開催した。内容及び参加人数は、昔の遊び体験が122人、人形劇・大型絵本の読み聞かせが80人、語りが38人であり、同日に開催初日であった企画展の入館者は418人であった。開館30周年として開催した昨年度は1,000人を超えた人出であったが、今年度は延べ658人であった。琵琶演奏や朗読等が呼べなかったことが、参加者が減った要因であると考えている。昔の遊び体験では、市民学芸員と参加した親子でお手玉や昔の遊びに興じている姿が、昔の子ども達の暮らしに想いをはせることができる良い機会となった。人形劇や読み聞かせについては、子どもの反応が良く、集中して楽しい時間を過ごせたようだった。語りは大人を対象としていたが、用意した席が38席であり、実際は席数を超える参加希望者がいた。</p> <p>10月28日から12月3日までの31日間、郷土資料館展示室にて開催する。羽生市には古くから多くの社寺があり、人々の精神的なよりどころとなりながら、現在まで保護、継承されてきている。今回の企画展は、平成17年度から実施している社寺調査の成果を元に「村君地区の寺院」に焦点を当て、永明寺、延命寺等の仏像、軸物、仏具等を展示することになっている。入館は無料である。その他、郷土資料館職員による展示解説会を11月5日と19日に実施する予定である。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	古市委員	<p>ムジナモ自生地の保護の取組が継続されていることは、すごく良い事である。羽生でムジナモが生育していることは多くの方が知っているが、これを一歩進め、ムジナモを大切にすることは、自然を大切にすること、環境を大切にすることという事だということを伝えられないか。ムジナモに関心を持つことが、自然や環境について考える切り口になる可能性があるのではないと思う。サブタイトルで「自然」や「環境」というキーワードを加えて、ムジナモに関する活動をしていければ、この植物がたまたま羽生にあるということではなく、自然や、我々が生きるための環境の保護という大きな問題に繋がるというメッセージを市民に届けられるのではないか。参加者以外の人にも伝わるよう、事業のPRの段階から工夫していただければ効果的ではないかと思った。</p>
	生涯学習課長	<p>三田ヶ谷小学校では、環境保護の授業として、ムジナモを題材にしている。ムジナモを通して、そのような活動を少しでも広げていければ良いと思う。</p>
	春山委員	<p>自生地保護活動の努力が実り、ムジナモは爆発的に増えているということだが、絶滅危惧種 1A になるという見通しはどのくらいあるか。また、次期総合振興計画の環境基本計画で「水と緑に囲まれ、心豊かに暮らせるまち」と掲げているとおり、ムジナモが増殖していることをPRすることは、羽生は水がきれいで、自然豊かなところだということを市のイメージとして発信する絶好の機会ではないかと思う。</p>
	生涯学習課長	<p>ムジナモは昨年 9 月時点で 15 万株、今年は 7 月時点ですでに 20 万株以上に増えている。レッドデータブックは、5 年から 10 年のスパンで見直されるということであり、それまでの間、この状態を維持することができれば、絶滅危惧種 1A にランクダウンされることになると思う。先日、NHKのニュースで三田ヶ谷小学校の放流会の様子が放送されたことで、それを見た方が見学会に参加してくれた。テレビやマスコミも活用して、羽生市にはムジナ</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>モというものがあり、自然保護を進めているのだということをもっとPRしていきたい。</p> <p>自生地の保護には、埼玉大学の金子教授が携わり、色々なかたちで協力してくださっている。20万株にも増えたムジナモの数が定着すれば、レッドデータブックのカテゴリーの扱いが緩やかになり、「自生地」として認識されるという話を伺っている。子ども達の教育という観点では、三田ヶ谷小学校がムジナモの放流を20年以上継続しているということで、NHKで何度も放映されている。また、先日、市内の小学生が林間学校で他県を訪れたときに、行先の市のことを学ぶと同時に羽生市をPRした。たまたま居合わせ、そのPRを聞いた人から、市に手紙が届いた。子ども達が立派に羽生市の紹介をしていたので、ムジナモの花を見てみたい、いがまんじゅうも召し上がりたいと書いてあった。学校教育の中でも自然保護、環境教育、そして羽生市のPRということでは、非常に頑張っていると感じている。良い部分を他の学校にも広げていければと思っている。</p>
	古市委員	<p>子ども達のプレゼンテーション能力も向上していると言える。</p>
	古市委員	<p>吹奏楽フェスティバルについて、今回は第20回ということであるが、回を重ねてきたところで、プロのオーケストラを招き、生演奏を聴く等ができれば良い刺激になるのではないかと思う。</p>
	生涯学習課長	<p>実は今回、講評を東京アカデミック管弦楽団にお願いしてある。今後さらに市民の吹奏楽に対する意識が高まっていけば、プロの楽団を招待することも検討していきたい。</p>
	教育長	<p>中学野球大会について、さいたま市、加須、行田から強豪校が参加するとのことである。市内の中学校も夏の大会で頑張ったと聞いているが、ここでそのことについて紹介いただきたい。</p>
	スポーツ振興課長	<p>夏の中学生の野球大会では、市内の中学校は北埼玉で1位、2位、3位の結果を残し、3校とも県大会に出場した。これまで羽生市トップアスリート育成事業を継続して実施しているが、そういった</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p>教育長</p> <p>古市委員</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>古市委員</p>	<p>取組も今回の成果に繋がったものと確信している。今回報告した中学野球大会で招待するさいたま市立大谷場中についても、県内で有数の強豪であり、市内中学校も是非対戦したいということで、交流試合を行うこととなった。</p> <p>このような積み重ねを 35 回も続けていることもあり、市内の中学校が強くなったため、市外から強い対戦相手が来てくれるようになったのだと思う。また、陸上競技の話になるが、今年は東中学校 1 年生の女子が、県大会での 100m 走で 1 位になったとのことである。100m 走で 1 位になることはすごいことであると思う。頑張っって良い結果を出してくれたため、この場で紹介させていただいた。</p> <p>図書館・郷土資料館まつりについて、昔の遊び体験で市民学芸員の人達が子ども達と仲良く親しげに、子どもからパワーをもらってニコニコしながらやっていた。市民学芸員以外にも裾野を広げ、子ども達との触れ合いを大切にしてくれるような人材を広く集めてみてはどうかと思う。郷土資料館や歴史博物館は地域のコミュニティーの中心になりうる役割があると言われている。羽生市立図書館・郷土資料館も地域と密接に繋がっていけるよう、事業を継続していただきたい。</p> <p>市民学芸員には純粋に歴史が好きで参加している方もいらっしゃるが、今回は希望者を募って手伝っていただいた。昨年は不動岡誠和高校の生徒にも手伝っていただいたが、今年は日程が合わなかった。委員の意見のとおり、子ども達と触れ合いたいという方もいらっしゃると思うので、協力してくれる人を広く集める方法を検討したい。郷土資料館が地域の拠点に成りうるということについては、施設として展示室が 1 室のみであり、調査員はいるが専門の学芸員がないという状況である。今後は、外部から講師を招く等、工夫して市民の郷土や歴史への関心を高めていきたい。</p> <p>市民の郷土を愛する気持ち、郷土に誇りをもつ気持ちを醸成することは、郷土資料館の大きな役割であると思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第40号 平成29年度学校歯科 医の委嘱について</p>	柿沼委員	<p>図書館・郷土資料館まつりについては、報告のとおり琵琶演奏などの珍しい催しが人を集める効果があり、参加者を増やすためには、市民の目を引く企画が必要であろう。</p> <p>今回村君地区をとりあげる社寺宝物展は、大変素晴らしいと思う。是非、村君小学校の児童や先生にも来ていただき、地域愛の醸成に繋げていただきたい。今後も取組を継続し、各地区の紹介ができれば面白いと思った。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>図書館郷土資料館まつりの参加人数が少なかったのは、琵琶演奏がなかったことその他、語りが固定席であったことも要因の一つと考えている。昨年度は、語りの実施中の室内への出入りが自由だったが、今年度はじっくり聞いていただこうと考え、38席限定で行った。</p> <p>社寺宝物展については、村君小学校に依頼し、児童一人一人にチラシを持って帰っていただけるよう手配している。これまで井泉地区、川俣地区、文殊院等の展示を行い、今回で5回目となるが、これからも社寺調査が進んでいるところを順次紹介していきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
	教育長	<p>議案第40号について、学校教育課長から説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>学校歯科医の退任の申し出に伴い欠員が生じるため、対象者を新たに委嘱するものである。</p>
教育長	<p>議案第40号について、意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>	

会議事件名	て ん 末	
	教育長	議案第 40 号については、よろしいか。
		異議なしの声あり
	教育長	議案第 40 号は、可決された旨宣した。
	教育長	次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。
	教育総務課長	9 月定例教育委員会は 9 月 21 日 午後 2 時 30 分より教育委員室にて開催する。
	教育長	閉会を宣した。
		教育長 _____
		委 員 _____
		委 員 _____
		書 記 _____